

# ヒアリ

分類: ハチ目アリ科

学名: *Solenopsis invicta*

和名: ヒアリ

英名: Red imported Fire ant

別名・流通名: アカヒアリ

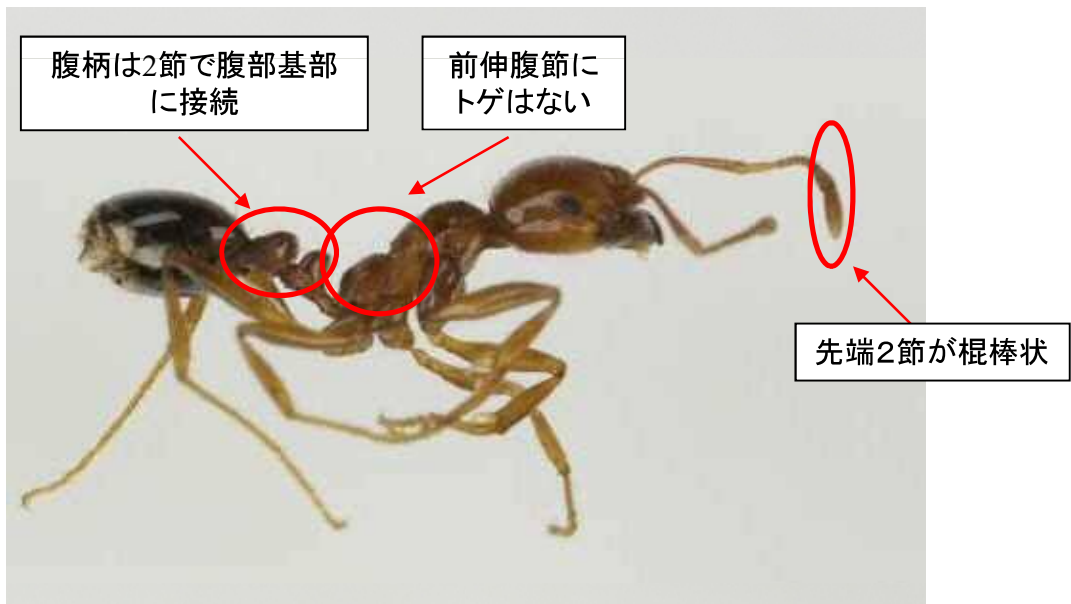
原産地と分布: 南米 原産

北米、熱帯アジア、オーストラリア等に侵入定着

未判定外来生物: なし。

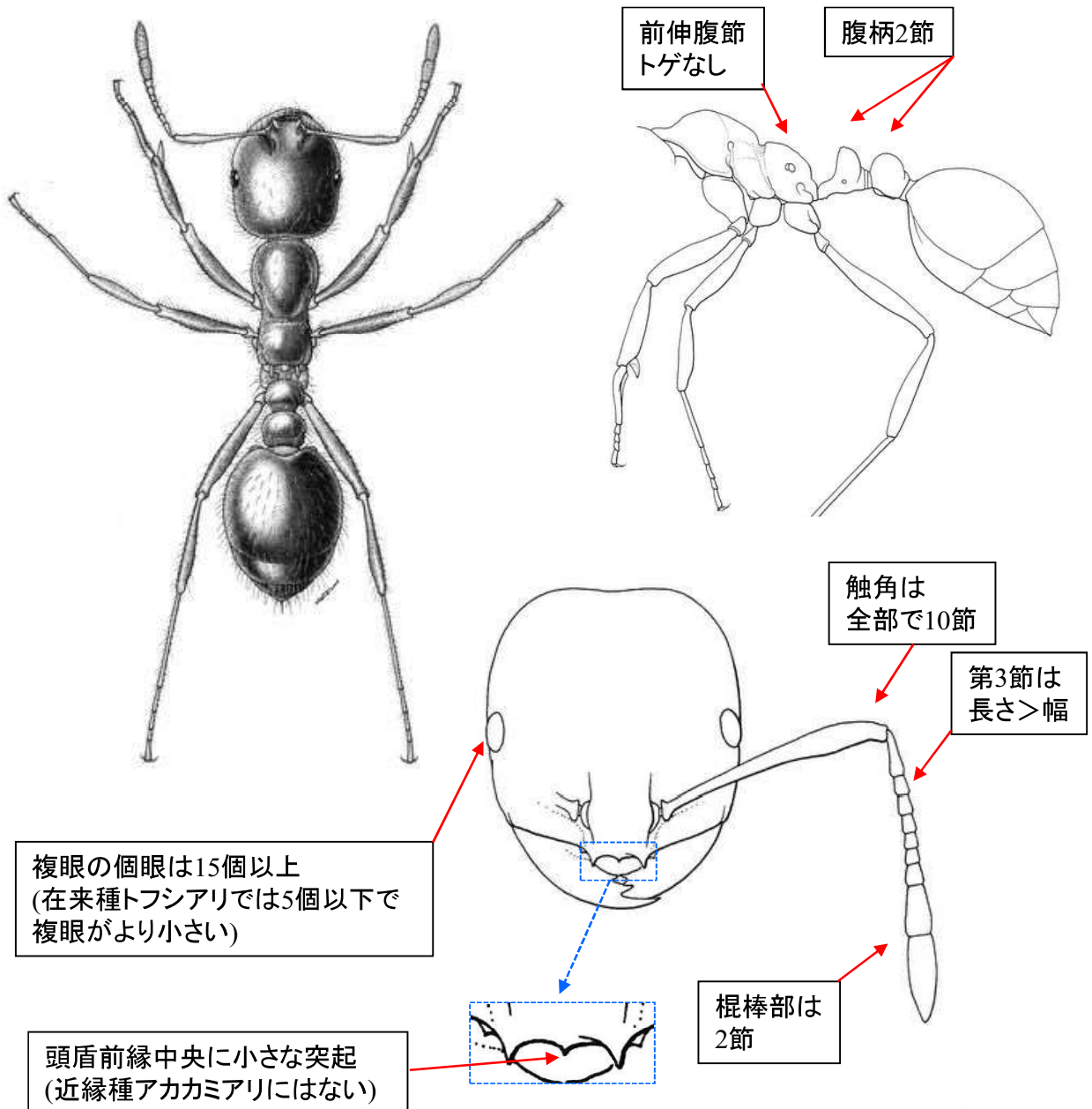
種類名証明書添付生物: アカカミアリ、ヒアリ

**形態的特徴:** 体長3～5mm。赤褐色で頭部は褐色。頭部頭盾の歯は3本。触角は10節で先端2節は棍棒状。腹柄は2節で腹部の基部に接続する。前伸腹節にトゲを持たない。複眼は15個以上の個眼で構成される。働きアリは大型のものでも巨頭化しない。



類似した種との識別点

亜科	属		腹柄	触角節数	触角棍棒部	前伸腹節	複眼の個眼数	触角第3節	頭盾前縁中央小突起
フタフシアリ	トフシアリ	ヒアリ	2節	10	2節	トゲなし	15個以上	長さ>幅	あり
		アカカミアリ	2節	10	2節	トゲなし	15個以上	長さ>幅	なし
		トフシアリ等 在来種	2節	10	2節	トゲなし	5個以下	長さ≤幅	なし
	ヒメアリ	2節	12	3節	トゲなし	-	-	-	
	オオズアリ	2節	12	3節	トゲあり	-	-	-	
その他の亜科			1節	-	-	-	-	-	



**特記事項** : *Solenopsis*属は世界に広く分布し、これまでに270種が知られている。そのうち10種程度がヒアリ類 (Fire Ants) とされている。ヒアリ類はアルカロイド性の毒を持ち、腹部の毒針で刺されると激しい痛みがあり、強いアレルギー症状を起こすことがある。

# アカカミアリ

分類: ハチ目アリ科

学名: *Solenopsis geminata*

和名: アカカミアリ

英名: Fire ant

別名・流通名: 一

原産地と分布: 南米 (北米、オーストラリア等に移入定着)

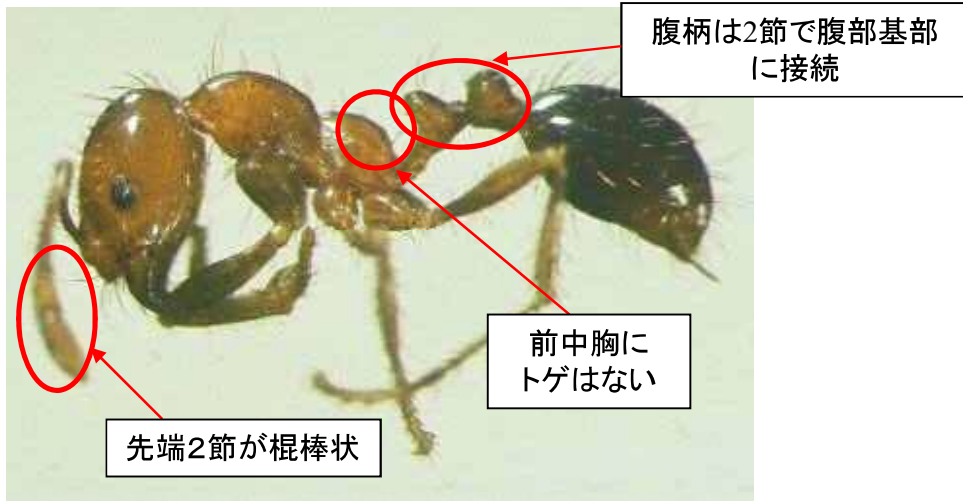
国内では硫黄島に定着。

沖縄島、伊江島から記録があるが近年は確認なし。

未判定外来生物: なし。

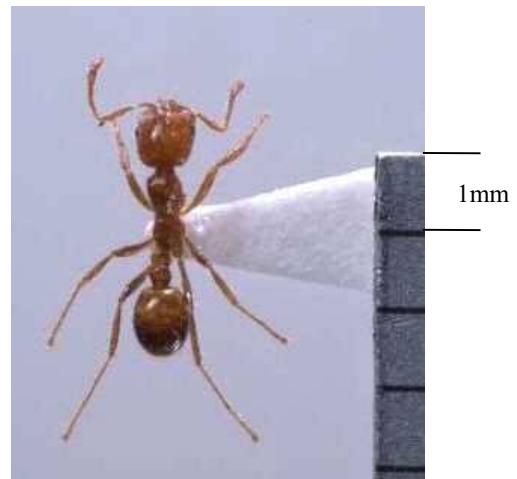
種類名証明書添付生物: アカカミアリ、ヒアリ

**形態的特徴:** 体長3~8mm。赤褐色で頭部は褐色。頭部頭盾中央に1本の剛毛をそなえる。触角は10節で先端2節は棍棒状。腹柄は2節で腹部の基部に接続する。複眼は20個以上の個眼で構成される。働きアリには大型のものと小型のものがあり、大型の個体の頭部は肥大し四角形状。【近似種との区別についてはヒアリの項参照】



大型の働きアリ

小型の働きアリ



**特記事項:** *Solenopsis*属は世界に広く分布し、これまでに270種が知られている。そのうち10種程度がヒアリ類 (Fire Ants) とされている。ヒアリ類はアルカロイド性の毒を持ち、腹部の毒針で刺されると激しい痛みがあり、強いアレルギー症状を起こすことがある。

# アルゼンチンアリ

分類: ハチ目アリ科

学名: *Linepithema humile*

英名: Argentine ant

和名: アルゼンチンアリ

別名・流通名: (流通なし)

原産地と分布: 南米(北米、ヨーロッパ、日本等に侵入定着)

未判定外来生物: なし。

種類名証明書添付生物: アルゼンチンアリ

**形態的特徴:** 体長2.5~3.0mm。外皮は軟らかく、黒褐色。複眼はやや大きく、頭部背面前方よりに位置する。腹柄は1節で扁平なこぶ状。腹部末端は割れ目状に開口する。前中胸後縁はやや隆起する(へこまない)。頭盾の前縁は突出しない。胸部は前中胸が多少隆起し側方からみて緩やかなアーチを描く。外皮は柔らかい。



前中胸後縁はへこまない

腹柄は1節で扁平なこぶ状



## アルゼンチンアリと間違えられることのある在来種との比較

	体長	体色	腹柄	行動
アルゼンチンアリ	2.5-3.0mm	黒褐色	1節、扁平	密な行列を作って素早く歩く
トビイロケアリ	2.5-3.5mm	黒褐色	1節、山型	まばらな行列を作る
クロヤマアリ	4.5-6.0mm	黒色	1節、山型	行列を作らない
アミメアリ	2.5mm	褐色~赤褐色	2節	密な行列を作ってゆっくり歩く
トビイロシワアリ	2.5mm	褐色~黒褐色	2節	まばらな行列を作ってゆっくり歩く

**特記事項:** 本属は南米産で約16種が記載されている。本種の外に、日本には同属種は生息していない。温暖な条件では行列を作り非常に素早く行進し、しばしば家屋や施設内に侵入する。

# コカミアリ

分類: ハチ目アリ科

学名: *Wasmannia auropunctata*

英名: Little fire ant, Little red fire ant, Little introduced fire ant

和名: コカミアリ

別名・流通名: チビヒアリ

原産地と分布: 中南米 原産

北米・アフリカ・カリブ・太平洋諸島に侵入定着

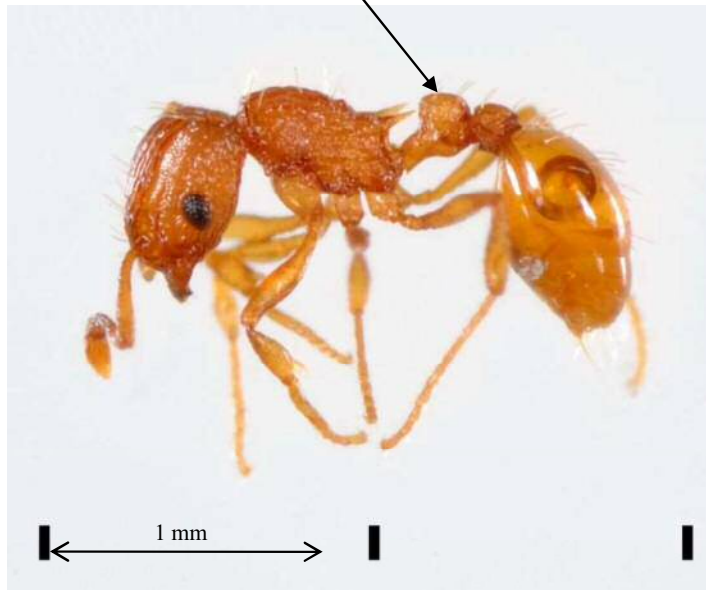
未判定外来生物: なし

種類名証明書添付生物: コカミアリ

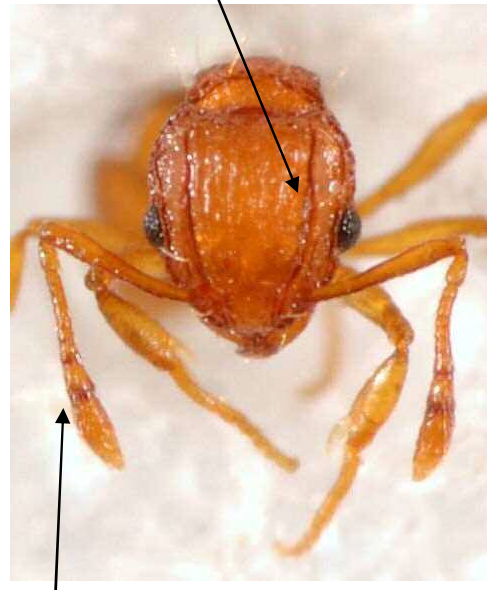
## 形態的特徴:

- ・体長1.0~2.0mmの小型のアリ。集団で活発に活動する。
- ・赤黄褐色で、腹部はしばしば黒っぽい。
- ・腹柄は2節(フタフシアリ亜科の特徴)で、前方の腹柄節はこぶ状に発達する。
- ・触角は11節で先端2節は棍棒状。
- ・触角収容溝が発達し、頭部の後縁近くまで達する。
- ・全身にまばらで長い立毛をそなえる。
- ・腹部先端に針を持ち、刺されると激しい痛みがある。

前方の腹柄節はこぶ状に発達する



触角収容溝が発達する



触角は11節で先端2節が棍棒状

**特記事項:** 本属は南米から約10種が記載されている。日本には同属種は分布していない。日本未侵入  
本種は刺されると激しい痛みを覚え、侵入地等では農作業に影響が出るほどというが、ヒアリ類(*Solenopsis*)程の猛毒ではない。

## 用語解説

ふ節 : 跗節。節足動物の脚において末端に位置する関節。クモの歩脚（後方の4対）では、基部から順に、基節（きせつ）、転節（てんせつ）、腿節（たいせつ）、膝節（しつせつ）、脛節（けいせつ）、蹠節（しょせつ）、跗節（ふせつ）となっている。

後角 : 後方の角（かど）。

頭胸部 : クモにおける前体。クモの胴体は頭胸部（前体）と腹部（後体）に分かれる。

腹柄 : アリ科では胸部と腹部の間に、1節もしくは2節よりなる明瞭な節が存在する。この節を腹柄とよぶ。